

令和7年度 個人戦予選の地区配分について

I 新人大会個人戦

(1) シングルス 64ドロー

i ストレートイン

- ・高校総体または高校選手権のどちらかで、シングルスベスト8以上の選手。
- ・本年度「国民スポーツ大会」群馬県代表選手。

ii 予選本数 (64 - ストレートイン人数)

- ① 高校総体またはインターハイ予選シングルスベスト16～32の1・2年生のiを除く人数を該当地区に割り振る
- ② 残りの本数を各地区の申込数に応じて均等に割り振る

(2) ダブルス 32ドロー

i ストレートイン

- ・高校総体または高校選手権のどちらかで、ダブルスベスト4以上で組み替えのない場合
- ・ベスト4以上の選手間で組み替えをした場合
- ・1・2年生ペアでダブルスベスト4以上に入ったが、そのペアで出場できるにも関わらず、学校の判断で別の選手(ダブルス本戦出場者)と組む場合。この場合、1組(登録順位の上位のペア)を本戦ストレートインとする。
- ・ペアのダブルスポイントが「20ポイント」以上の場合

ii 予選本数 (32 - ストレートイン組数)

- ① 1・2年生で、a)～b)の組数を該当地区に割り振る (iは除く)
 - a) ペアのダブルスポイントが「10ポイント」以上
 - b) ペアの1人が2大会ともベスト8以上
- ② 残りの本数を各地区の申込数に応じて均等に割り振る

2 高校総体個人戦

(1) シングルス 64ドロー + 1年生A級

i ストレートイン 8 新人大会シングルスベスト8 (+ 1年生A級)

ii 予選本数 56 (64 - 8)

- 24 新人大会シングルスベスト16 (8人) + 32 (16人)を該当地区に割り振る
- 32 各地区の申込数に応じて均等に割り振る

(2) ダブルス 32ドロー + 1年生A級 (+ 1年生A級)

i ストレートイン 4 新人大会ダブルスベスト4

ii 予選本数 28

- 12 新人大会ダブルスベスト8 (4組) + 16 (8組)を該当地区に割り振る
- 16 各地区の申込数に応じて均等に割り振る

令和7年3月6日

群馬県高体連テニス専門部